



県民参加による

森林環境の保全と 森林と共生する文化の 創造をめざして

令和6年度
森林環境税活用事業実績報告書



愛媛県



愛媛県イメージアップ
キャラクター
みきゃん



――はじめに――

森林は、人間の生活に必要な木材を供給するだけではなく、清らかな水や空気を生み出し、更には、地球温暖化や土砂災害の防止にも貢献するなど、私たちの快適で安全・安心な暮らしに不可欠な「緑の社会資本」です。

県では、県土の7割を占める約40万haの森林を健全な姿で次世代に引き継いでいくため、平成17年度に森林環境税を導入し、「森をつくる」「木をつかう」「森とくらす」の三つの分野において、森林環境の保全と森林共生文化の創造に向けた多種・多彩な事業を展開し、県民の森林に対する意識の向上を図るとともに、「県民参加のもりづくり」を推進しております。

近年、気候変動により自然災害が激甚化・頻発化し、本県においても、豪雨災害、大規模な林野火災等が発生しており、森林が持つ多面的機能は、水害・土砂災害の防止に力を発揮するほか、カーボンニュートラルの実現やSDGsの達成になくてはならないものとして注目されるなど、その果たすべき役割は、ますます重要になっていきます。

このような中、森林環境税は、令和2年度から令和6年度までを第4期として、県産材増産や森林資源の循環利用につなげる主伐・再造林の推進、木質バイオマス・CLTといった木材資源の利用拡大、森林環境教育の実践等に資する県民のふれあい拠点づくりなどに大きな役割を果たしてきたところです。そしてこのたび、県民の皆様の御理解を賜り、森林環境の保全と、森林と共生する文化の創造を強力に推し進めるため、第5期として令和11年度まで継続することといたしました。

また、令和8年春、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、本県で60年ぶりに開催する第76回全国植樹祭を契機として、森林整備や木材利用に対する県民の皆様の理解深化に向けた各種施策を展開し、開催理念の普及・浸透に取り組んで参ります。

本書は、令和6年度の実績を取りまとめたものであり、ぜひ御一読いただき、本県の森林環境税への御理解と、森林に対する関心を更に深めていただければ幸いに存じます。

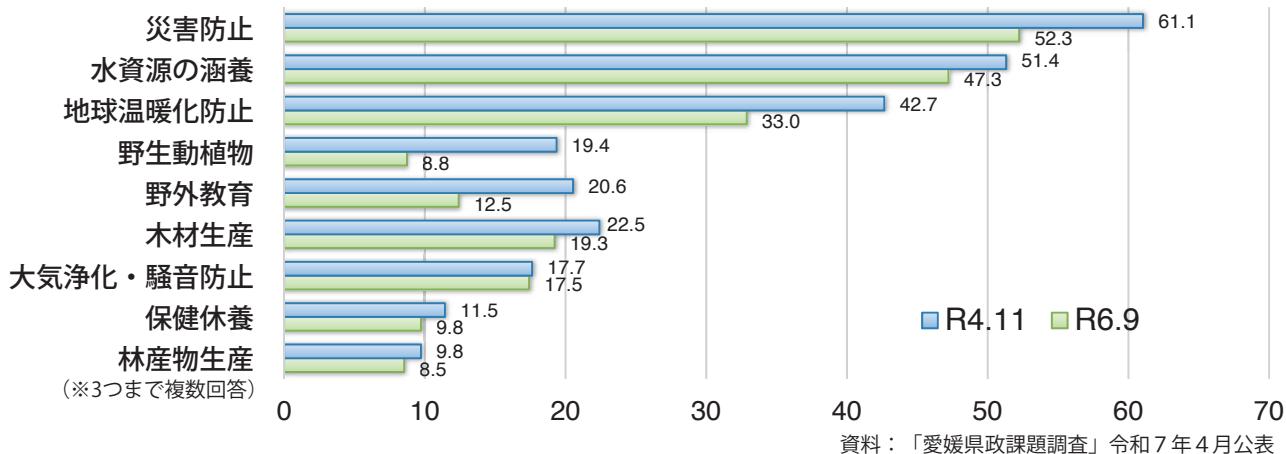
今後とも、県民共有の財産である森林を守り育てていくため、効率的、効果的な事業推進に努めて参りますので、皆様方におかれましては、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

令和7年10月

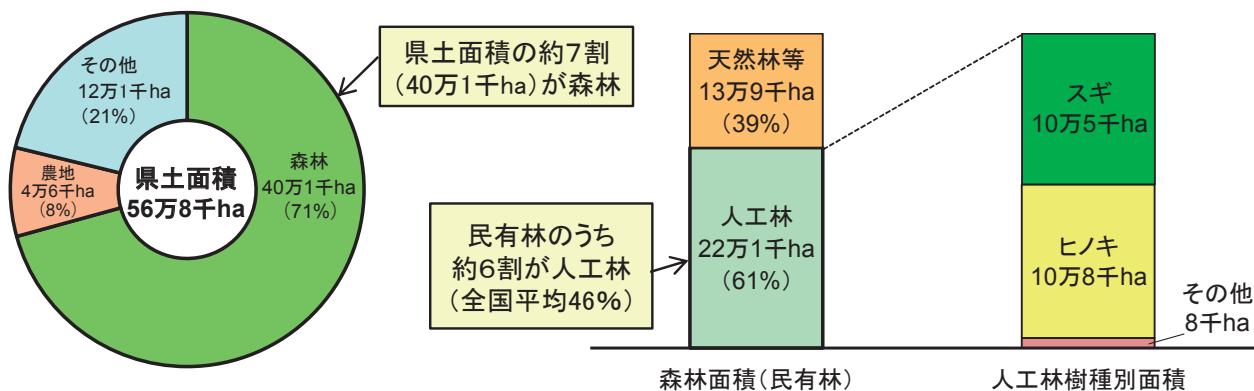
愛媛県知事 中村時広

愛媛県の森林・林業を取り巻く環境

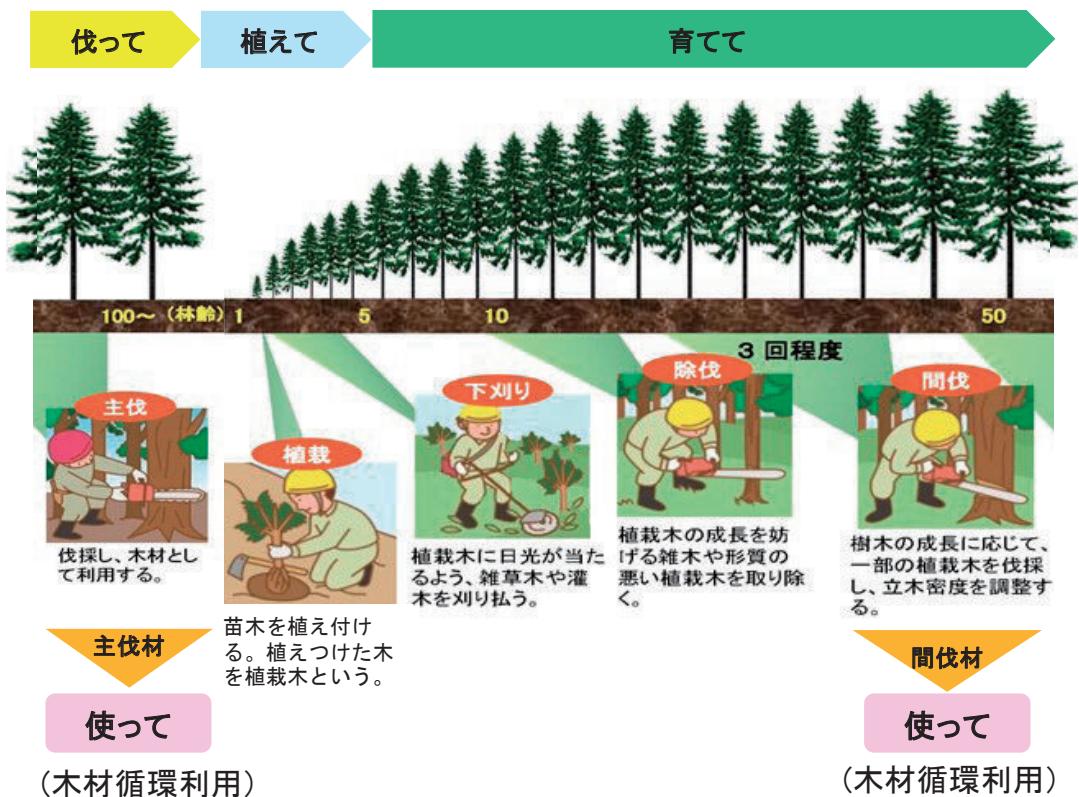
1. 県民の森林に期待する働き



2. 県土面積と人工林の面積



3. 森林(人工林)の循環利用サイクル

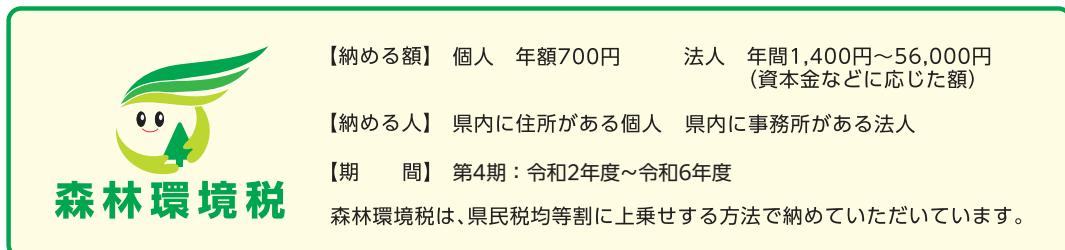


森林環境税は えひめの森林づくりに役立てています

私たちのふるさと愛媛は、県土の7割を森林がしめる緑豊かな恵まれた環境にあります。

これらの森林は、かけがえのない県民共有の財産であり、健全な姿で次代に引き継ぐため、

森林環境税を活用し、自然との調和を図りながら「**県民参加の森林づくり**」を進めています。



森林環境税を活用した事業

The image contains four circular boxes, each representing a different project utilizing the Forest Environment Tax:

- 県指定事業 森をつくる**: Shows people working on land reclamation and a photo of a miniチュア採穂園 (Takiharu Garden) in Tottori City.
- 木をつかう**: Shows people at a wood exhibition and sale, and a photo of a wood processing plant.
- 県指定事業 森とくらす**: Shows people in a bamboo forest and a workshop setting.
- 公募事業**: Shows people working on bamboo forest management and a woodwork workshop.

目 次

森林環境税を活用した施策の仕組み 1
令和6年度事業実績 2
(1) 県指定事業	
【森をつくる活動】 3
① 森林整備推進事業	
② 集落等山地災害危険地区整備事業	
③ フォレスト・マイスター養成支援事業	
④ 有害鳥獣総合捕獲事業	
⑤ 特定鳥獣保護管理計画推進事業	
⑥ 優良種苗確保事業	
⑦ 林業躍進プロジェクト推進事業	
⑧ 県産大径材生産促進事業	
⑨ 森林カーボンオフセット促進事業	
⑩ スマート林業人材育成研修事業	
⑪ エリートツリー活用省力化モデル事業	
⑫ えひめ農林水産業魅力発信事業	
⑬ 新規林業就業者育成事業	
【木をつかう活動】 2 1
① 木質バイオマス利用促進事業	
② CLT 等建築物建設促進事業	
③ 木の香る公園施設整備事業	
④ えひめ材住宅普及啓発事業	
⑤ 愛媛県産材製品市場開拓促進事業	
⑥ 特用林産物生産販売促進事業	
⑦ 南予家畜保健衛生所整備事業	
⑧ 愛媛県立北宇和高等学校馬術部厩舎改築事業	
【森とくらす活動】 3 5
① 県民と森との交流促進事業	
② 「森に親しむ博物館」開催事業	
③ 森林病虫獣害対策事業	
④ アートの森プロジェクト事業	
⑤ えひめ森林公園魅力発信事業	

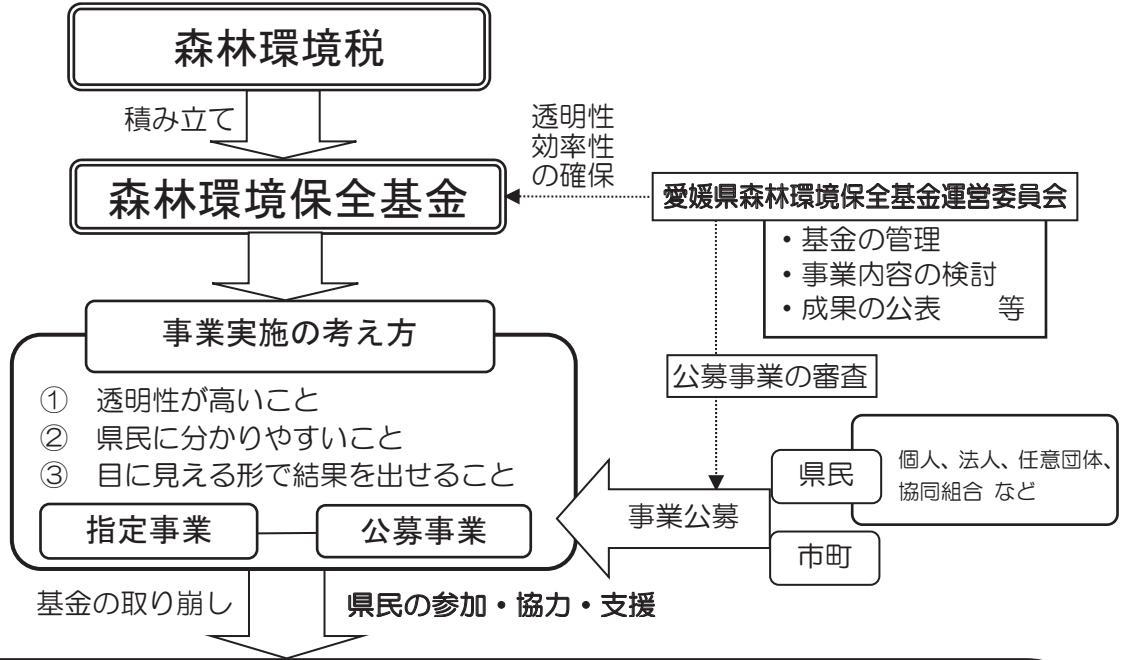
(2) 公募事業	
県民参加の森林づくり公募事業 4 4
令和6年度県民活動提案公募事業活動状況 4 6
(3) 全国植樹祭積立金事業	
全国植樹祭開催準備費 7 1

<資料編>

愛媛の森林・林業と森林環境税 7 3
1 森林の働き	
2 愛媛の森林・林業の現状	
3 森林環境税の導入	
・ 第1期森林環境税の事業目標と実績	
・ 第2期森林環境税の事業目標と実績	
・ 第3期森林環境税の事業目標と実績	
・ 第4期森林環境税の事業目標と実績	
愛媛県森林環境税条例 8 8
愛媛県森林環境保全基金条例 9 2
愛媛県森林環境保全基金運営委員会委員名簿 9 3

第4期森林環境税を活用した施策の仕組み（令和6年度事業）

森林環境の保全と森林と共生する文化の創造



森をつくる		木をつかう
指定事業	①森林整備推進事業 ②集落等山地災害危険地区整備事業 ③フォレスト・マイスター養成支援事業 ④有害鳥獣総合捕獲事業 ⑤特定鳥獣保護管理計画推進事業 ⑥優良種苗確保事業 ⑦林業躍進プロジェクト推進事業 ⑧県産大径材生産促進事業 ⑨森林カーボンオフセット促進事業 ⑩スマート林業人材育成研修事業 ⑪エリートツリー活用省力化モデル事業 ⑫えひめ農林水産業魅力発信事業 ⑬新規林業就業者育成事業	
	公募事業	○木材とのふれあい促進 ○親子木工教室など
○水源の森づくり ○里山再生と放置竹林の整備など		森の交流センター ○ボラティア、NPO 等のネットワーク化、活動、交流支援 ○フィールドの登録、提供 ○森林情報の収集、提供

森の交流センター

- ボランティア、NPO 等のネットワーク化、活動、交流支援
 - フィールドの登録、提供
 - 森林情報の収集、提供
 - 公募事業の推進

森林とくらす	森林とくらす
指定事業	<ul style="list-style-type: none">①県民と森との交流促進事業②「森に親しむ博物館」開催事業③森林病虫獣害対策事業④アートの森プロジェクト事業⑤えひめ森林公園魅力発信事業

全國植樹祭積立金事業

- ①全国植樹祭開催準備費
 - ②えひぬ森林公園魅力発信事業

令和6年度事業実績

◎基金繰入額

(単位：千円)

積立金	内 容	予算額	決算額	差引額
森林環境保全 基金積立金	森林環境税の目的である、「森林環境の保全」と「森林と共生する文化の創造」を図る事業を計画的かつ確実に実施するため、基金として積み立てます。	611,053	610,978	-75
	○森林環境保全基金積立金 (A)	611,053	610,978	-75

◎歳出額

区分	内 容	事業名	予算額	決算額	差引額
県指定事業 森をつくる活動	県民が安全で安心して暮らせるよう森林環境の保全を図るために、森林整備、森林病虫害の防除やそれを支える人材の育成等を総合的に進める。	①森林整備推進事業 「えひめ森林・林業振興プラン」に基づく森林整備の推進を図る	237,034	211,488	-25,546
		②集落等山地災害危険地区整備事業 山地災害危険地区的森林を土砂流出防止機能の高い健全な森林へ誘導	68,080	65,854	-2,226
		③フォレスト・マイスター養成支援事業 林業技術者等の担い手を養成する研修の実施	40,000	32,018	-7,982
		④有害鳥獣総合捕獲事業 ニホンジカによる森林被害等を軽減し、森林を保全	14,804	13,579	-1,225
		⑤特定鳥獣保護管理計画推進事業 ニホンジカの個体調査や試験捕獲の実施	51,780	44,545	-7,235
		⑥優良種苗確保事業 健全な森林を造成するため優良な苗木を確保、提供	5,316	5,299	-17
		⑦林業躍進プロジェクト推進事業 健全な森林を造成するため優良な苗木を確保、提供	29,303	25,799	-3,504
		⑧県産大径材生産促進事業 大径材活用のための流通設備等の支援	5,897	4,645	-1,252
		⑨森林カーボンオフセット促進事業 県内におけるJ-クレジット販売・供給促進	7,993	7,946	-47
		⑩スマート林業人材育成研修事業 ICT等のDX技術等を活用した業務の効率化	2,772	1,804	-968
		⑪エリートツリー活用省力化モデル事業 エリートツリーの活用・普及促進	1,996	1,715	-281
		⑫えひめ農林水産業魅力発信事業 新たな林業の担い手確保	5,000	4,665	-335
		⑬新規林業就業者育成事業 林業への新規就業者確保	1,318	874	-444
		⑭新規林業就業者育成事業 林業への新規就業者確保	2,775	2,745	-30
県指定事業 木をつかう活動	持続的な森林経営の推進に不可欠な森林資源の利活用を促進するため、公共的施設や民間住宅における木造化・木質化等による、木質資源の利用拡大を図るとともに、県産材の安定供給体制等の整備を行い、県産材の競争力を強化を図る。	①木質バイオマス利用促進事業 未利用材を木質バイオマスとして有効利用	218,808	178,917	-39,891
		②C L T 等建築物建設促進事業 地域のシンボルとなる公共施設の木造化及びC L T 利用の普及・促進等	24,730	17,900	-6,830
		③木の香る公園施設整備事業 利用者に優しい木材を使用した公園施設の整備	77,963	68,602	-9,361
		④えひめ材住宅普及啓発事業 県産民間住宅に木材を無償提供する等、木造住宅の建設を促進	2,000	2,000	0
		⑤愛媛県産材製品市場開拓促進事業 県産材の販売体制整備や大消費地での市場開拓等を支援	70,373	48,152	-22,221
		⑥特用林産物生産販売促進事業 乾いたけや乾いたけのこ等の特用林産物生産者の確保等	13,710	13,566	-144
		⑦南予家畜保健衛生所整備事業 新設移転する衛生所の内装等一部を木質化し、木材利用の推進をPR	19,951	18,616	-1,335
		⑧愛媛県立北宇和高等学校馬術部厩舎改築事業 馬術部厩舎を木造建築で改築し、木材利用の推進をPR	2,081	2,081	0
		⑨愛媛県立北宇和高等学校馬術部厩舎改築事業 馬術部厩舎を木造建築で改築し、木材利用の推進をPR	8,000	8,000	0
県指定事業 森とくらす活動	青少年を対象とした森林・林業体験や森林環境教育を行うとともに、森林づくりを行う市民グループやボランティア団体の交流や森づくりの場（フィールド）等の情報提供を行ない、県民参加による森林づくりの気運の醸成を図る。	①県民と森との交流促進事業 県民と森との交流促進	30,184	28,652	-1,532
		②「森に親しみ博物館」開催事業 自然や森林に関する巡回展や工作イベント等の開催	18,550	17,256	-1,294
		③森林病虫害対策事業 松林保全活動の支援及びニホンジカの森林被害対策を図る	3,090	3,090	0
		④アートの森プロジェクト事業 県美術館で、県産材により作成した額や展示台等による展示事業	2,164	2,164	0
		⑤えひめ森林公園魅力発信事業 森とふれあう各種体験イベント等の実施	1,800	1,798	-2
事業公募	県民の自発的な提案による森林環境保全等の活動に対する支援を行い、県民参加の森林づくり活動の一層の促進を図る。	⑥えひめ森林公園魅力発信事業 森とふれあう各種体験イベント等の実施	4,580	4,344	-236
		⑦県民参加の森林づくり公募事業	15,000	13,398	-1,602
		⑧県民参加の森林づくり公募事業	15,000	13,398	-1,602
		○事業 総計 (B)	501,026	432,455	-68,571
積立植樹祭 全国	令和8年春に開催予定の第76回全国植樹祭に向けてえひめ森林公园の整備や広報、開催準備を行い、機運醸成を図る。	⑨全国植樹祭 積立額 (C) ※110,000千円×5年間 (R2~R6)	110,000	110,000	0
		⑩総計 (B+C)	110,000	110,000	0
		差額D = (A-B-C) ※次年度繰越金	27	68,523	68,496
積立全国植樹祭 金	全国植樹祭積立金	令和6年度積立額	110,000	110,000	0
		令和5年度までの積立残額	207,183	207,183	0
		○積立金総計 (E)	317,183	317,183	0
	関連事業	①全国植樹祭開催準備費	35,607	35,607	0
		②えひめ森林公园魅力発信事業	6,959	6,698	-261
		○歳出予算総計 (F)	42,566	42,305	-261
		差額 (E-F) ※次年度繰越金	274,617	274,878	261

※金額については端数調整あり。

① 森林整備推進事業（造林事業）

「えひめ農林水産業振興プラン2021」による森林整備を一層強化するため、国庫補助の対象とならない森林施業等に支援を行い、森林の持つ公益的機能の高度発揮と林業の活性化、ひいては、地球温暖化防止に貢献します。

1 ポイント

「えひめ農林水産業振興プラン2021」に基づき、森林が持つ地球温暖化防止や水源涵養及び県土保全機能等の高度発揮を図るために、森林整備を積極的に推進し、同プランの目標達成に取り組んでいます。

本事業では、国庫補助の対象とならない森林所有者自ら実施する森林施業等に対する支援を行うことによって、同プランの目標達成に寄与するとともに、森林の保全・整備と林業・木材産業の振興を図るものであります。

2 事業内容及び採択要件等

事業種	事業内容	採択要件
①自伐林家支援事業	国庫補助事業の対象とならない森林所有者等が自ら行う森林施業に対し、支援を行う。 (実施主体：森林所有者等)	<ul style="list-style-type: none"> 対象施業は、植栽、獣害対策、下刈、間伐、森林作業道開設等 1 施行地の面積が0.05ha以上
②未整備森林再生事業	国庫補助事業の対象とならない林業事業体等が行う森林施業等に対し、支援を行う。 (実施主体：森林組合、林業事業体等)	<ul style="list-style-type: none"> 対象施業は、更新伐、森林作業道改良等 1 施行地の面積が0.10ha以上
③林業架線作業支援	国庫補助事業の対象とならない林業事業体等が行う林業架線による森林施業に対し、支援を行う。 (実施主体：林業事業体等)	<ul style="list-style-type: none"> 林業架線による木材生産等 1 施行地の面積が0.50ha以上

3 令和6年度実績

- (1) 実績額 65,854 千円
(2) 実施状況



間伐



更新伐



架線作業

4 事業期間 令和2年度～令和6年度

5 全体計画

事業内容		R2	R3	R4	R5	R6	計
計画	森林整備面積 (ha)	349	308	173	233	283	1,346
	金額(千円)	141,768	56,717	56,717	67,000	68,080	390,282
	うち森林環境税(千円)	78,503	56,717	56,717	67,000	68,080	327,017
実績	森林整備面積 (ha)	259	148	122	194	135	858
	金額(千円)	140,828	56,098	56,442	64,949	65,854	384,171
	うち森林環境税(千円)	77,563	56,098	56,442	64,949	65,854	320,906
実施箇所		県下全域	県下全域	県下全域	県下全域	県下全域	

② 集落等山地災害危険地区整備事業

「山地災害危険地区」のうち土砂流出防止機能等が著しく低下し、降雨によって集落等に被害を及ぼす恐れのある地区的森林について、本数調整伐等を実施し、下層植生を導入するなど土砂流出防止機能の高い健全な森林へと誘導します。

1 ポイント

近年、局地集中型豪雨や大規模地震等の異常天然現象が増加する傾向にあり、山地災害の様相が大きく変化していることから、継続的な公共治山事業と併せて、これまで想定していなかった山地災害に対する新たな対応が求められています。

本事業では、公共治山事業として採択されない「山地災害危険地区」のうち土砂流出防止機能等が著しく低下し、降雨等で集落等に被害を及ぼす可能性が高い地区的森林等を緊急に整備して山地災害危険地の解消を図ることとしています。

2 事業内容

- (1) 溪流タイプ
 - ・本数調整伐（間伐率40%程度）
 - ・簡易木製構造物（木製ダム・柵工等）
 - ・その他森林機能回復のために必要なもの
- (2) 山腹タイプ
 - ・本数調整伐（間伐率40%程度）
 - ・簡易木製構造物（木製土留工、柵工等）
 - ・その他森林機能回復のために必要なもの
- (3) 機能回復タイプ
 - ・溪流内や既存治山施設に異常堆積した土石や流木等の除去
 - ・既存治山施設の軽微な修復

【実施場所】県が定めている山地災害危険地区であって、民有林治山事業の採択基準を満たさない箇所であること。

【事業主体】県

【採択要件】

林分が過密化等して土砂流出防止機能等が低下している箇所で、次のいずれかに該当するもの。

① 溪流タイプ

現に森林が荒廃等して溪流に土砂の流出が認められる箇所で、整備対象森林面積が10ha以上、かつ、1箇所の工事費（全体計画額）が500万円以上であること。

② 山腹タイプ

人家5戸以上の集落後背部の森林で、整備対象面積が5ha以上、かつ、1箇所の工事費（全体計画額）が250万円以上であること。

③ 機能回復タイプ

集落後背部の森林で、台風災害等により、土石や流木等の不安定堆積物が異常堆積し、森林が有する災害防止機能や既存治山施設の機能が低下している箇所であること。

3 令和6年度実績

(1) 実績額 32,018千円（事務費含む）

(2) 実施状況



山腹タイプ（本数調整伐）



機能回復タイプ（既存治山施設の修復）

森をつくる活動

4 事業期間 令和2年度～令和6年度

5 全体計画

事業内容		R2	R3	R4	R5	R6	計
計画	山地保全面積	70ha	70ha	70ha	70ha	70ha	350ha
	事業費	40,000千円	40,000千円	40,000千円	40,000千円	40,000千円	200,000千円
	うち森林環境税	40,000千円	40,000千円	40,000千円	40,000千円	40,000千円	200,000千円
実績	山地保全面積	45.19ha	18.86ha	24.41ha	14.65ha	4.85ha	107.96ha
	作業歩道等	1,233m	0m	515m	160m	0m	1,908m
	事業費	38,898千円	39,255千円	39,314千円	39,269千円	32,018千円	188,754千円
	うち森林環境税	38,898千円	39,255千円	39,314千円	39,269千円	32,018千円	188,754千円
実施箇所		四国中央市(1) 西条市(1) 今治市(1) 砥部町(1) 大洲市(2) 西予市(1)	四国中央市(1) 西条市(1) 今治市(1) 久万高原町(1) 大洲市(2) 西予市(2)	西条市(1) 今治市(2) 久万高原町(1) 大洲市(2) 西予市(1)	西条市(1) 伊予市(1) 久万高原町(1) 大洲市(1) 内子町(1)	松山市(1) 伊予市(1) 宇和島市(1) 内子町(1) 鬼北町(1)	

③ フォレスト・マイスター養成支援事業

公益的機能を持つ森林を面的・効率的に整備する林業技術者(フォレストワーカー)と作業管理者(フォレスト・マイスター)を養成するとともに、異業種から参入する事業体を育成する研修や林業事業体と就業希望者とのマッチングを促進するための就業相談会を実施します。

1 ポイント

森林の持つ公益的機能を發揮するためには、適切な森林整備とそれに伴う木材生産の実施、搬出される木材の多面的利用を推進する必要があります。しかし、森林整備を行う林業の担い手は、減少しており、時代の要請に応える林業の担い手の確保が急務となっています。

このため、新規就業を希望する者に林業を行う上で必要な基本的知識・技術・資格を取得する研修を実施し、現場作業を担う林業技術者(フォレストワーカー)を養成するとともに、現場作業班のリーダー及び現場作業の管理者(フォレスト・マイスター)を養成し、林業の担い手の確保育成を図ります。

さらに、異業種から林業界へ新規に参入する事業体等に対し現地研修等を実施するとともに、県内の林業事業体と就業希望者とのマッチングを促進するための就業相談会を開催し、幅広く林業の担い手を確保することとしています。

2 事業内容

(1)フォレストワーカー養成コース 対象人数 年間7名 【実績 15名】 研修期間 25日間	森林整備に必要な基本的知識・技術・資格等の習得研修 (緑の雇用担い手確保育成対策事業と共に実施) ○講習内容：林業の基礎知識、造林育林技術、伐採技術、機械の構造と仕組み、森林病虫害の防除 ○取得資格：玉掛け技能講習、小型車両系建設機械運転業務特別教育(整地等)、伐木等の業務に係る特別教育、刈払機取扱作業者安全衛生教育、走行集材機械の運転の業務の特別教育
(2)林業架線作業技術コース 対象人数 年間14名 【実績 9名】 研修期間 30日間	林業架線作業に必要な基本的知識・技術・資格等の習得研修 ○講習内容：架線知識、架線法令、架線力学、架線設計、架線の架設・撤去、集材機操作、タワーヤード架設・撤去、スイングヤード架設・撤去、ワイヤーロープ実習、架線現場視察 ○取得資格：林業架線作業主任者免許、小型移動式クレーン運転技能講習、簡易架線集材装置等の運転の特別教育、機械集材装置の運転の業務特別教育、はい作業従事者安全教育
(3)高性能林業機械作業技術コース 対象人数 年間12名 【実績 6名】 研修期間 39日間	高性能林業機械活用およびコスト管理に必要な知識・技術・資格等の研修 ○講習内容：高性能林業機械の基本操作、高性能林業機械の構造と仕組み、スイングヤード架設・撤収、システム運用実習、間伐作業の技術・経営・コスト管理 ○取得資格：大型自動車運転免許、車両系建設機械（整地等・解体）技能講習、不整地運搬車技能講習、フォークリフト運転技能講習、はい作業主任者技能講習、走行集材機械の運転の業務の特別教育、伐木等機械の運転業務の特別教育、簡易架線集材装置等の運転の特別教育
(4)安全衛生教育指導者育成コース 対象人数 年間5名 【実績 5名】 研修期間 3日間	安全衛生及び技術向上に関する高度な指導者の養成研修 ○講習内容 伐木等作業に関する安全管理と KYT 活動の進め方

森をつくる活動

3 令和6年度実績

(1) 実績額 13,579千円

(2) 実施状況



フォレストワーカー養成コース



林業架線作業技術コース



高性能林業機械作業技術コース



安全衛生教育指導者育成コース

4 事業期間 令和2年度～令和6年度

5 全体計画

事業内容		R2	R3	R4	R5	R6	計
計画	森林整備面積	40ha	40ha	40ha	40ha	40ha	200ha
	研修受講者数	258人	250人	258人	158人	158人	1,082人
	事業費	21,561千円	21,311千円	28,416千円	26,950千円	14,804千円	113,042千円
実績	うち森林環境税	18,839千円	18,639千円	18,639千円	17,323千円	14,804千円	88,244千円
	森林整備面積	4.4ha	5.8ha	6.2ha	7.4ha	7.0ha	30.8ha
	研修受講者数	266人	323人	339人	126人	35人	1,089人
	事業費	20,000千円	19,905千円	20,662千円	23,081千円	13,579千円	97,227千円
	うち森林環境税	17,278千円	17,480千円	18,066千円	17,215千円	13,579千円	83,618千円
実施箇所		県内一円	県内一円	県内一円	県内一円	県内一円	

④ 有害鳥獣総合捕獲事業（一部森林環境税事業）

ニホンジカによる農林業等に係る被害を軽減し、森林等の公益的機能の保全や農林業従事者の生産意欲の減退を防ぐため、市町が行うニホンジカ捕獲事業を支援します。

1 ポイント

近年、ニホンジカによる森林被害や農作物被害が深刻化しているため、市町が行うニホンジカ捕獲事業を支援し、ニホンジカの捕獲を強化します。

2 事業内容

有害鳥獣総合捕獲事業

①補助対象

市町が、ニホンジカの捕獲を強化するため、銃器又はわなによりニホンジカを捕獲した者に対し、奨励金の交付等を行うのに要する経費に対して補助

②事業実施主体 市町

③補助率 1／2 以内

④基準経費 10,000 円／頭

3 令和6年度実績

(1) 実績額 44,545 千円 (全体事業費 108,555 千円)

(2) 実施状況 ニホンジカ捕獲頭数 9,331 頭

4 事業期間 令和2年度～令和6年度

5 全体計画

事業内容		R2	R3	R4	R5	R6	計	
計画	捕獲計画数（全体）	8,315頭	8,315頭	10,800頭	10,800頭	10,800頭	49,030頭	
	捕獲計画数 (森林環境税分)	7,871頭	7,871頭	10,356頭	10,356頭	10,356頭	46,810頭	
	事業費	83,150 千円	83,150 千円	108,000 千円	108,000 千円	108,000 千円	490,300千円	
	うち森林環境税	39,355 千円	39,355 千円	51,780 千円	51,780 千円	51,780 千円	234,050千円	
実績	捕獲実績数（全体）	8,065頭	9,447頭	8,638頭	9,977 頭	9,331 頭	45,458 頭	
	捕獲実績数 (森林環境税分)	8,065頭	9,447頭	8,638頭	9,977頭	9,331頭	45,458頭	
	事業費	89,864 千円	110,165 千円	100,747 千円	110,345千円	108,555千円	519,676千円	
	うち森林環境税	39,355 千円	39,355千円	42,228千円	46,785千円	44,545千円	212,268千円	
実施箇所		18市町 松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、西予市、東温市、砥部町、久万高原町、内子町、伊方町、松野町、鬼北町、愛南町	18市町 松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、西予市、東温市、砥部町、久万高原町、内子町、伊方町、松野町、鬼北町、愛南町	18市町 松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、西予市、東温市、砥部町、久万高原町、内子町、伊方町、松野町、鬼北町、愛南町	ニホンジカにより森林被害及び農作物被害を受けている市町	ニホンジカにより森林被害及び農作物被害を受けている市町		

⑤ 特定鳥獣保護管理計画推進事業（一部森林環境税事業）

ニホンジカによる生態系被害等を抑制するため、個体数を適正に推定するための生息調査等を実施するとともに、これまで捕獲が進まなかつた高標高地域等での、個体数調整を目的とした計画的な捕獲を実施します。また、イノシシについても捕獲等が進んでいない自然公園を対象として捕獲を実施します。

1 ポイント

ニホンジカによる農林業被害等が深刻な状況にあり、平成 25 年 12 月、環境省と農林水産省が「抜本的な鳥獣捕獲強化対策」をとりまとめ、ニホンジカの個体群を令和 10 年度までに半減させることを目指しています。

県では適正管理計画を策定し、増えすぎたニホンジカを適正な生息数にするよう、生息密度調査等を実施し、個体数を推定するとともに、捕獲目標の達成のため、認定鳥獣捕獲等事業者等による積極的な個体調整（捕獲）を推進しました。また、イノシシについても捕獲等が進んでいない自然公園を対象として捕獲を実施しました。

2 事業内容

(1) ニホンジカの食害による自然植生の喪失を早期かつ確実に抑制・防止するため、石鎚山系及び石鎚山系に侵入が危惧される東予東部地域、東予西部・中予北東部地域の個体数調整を行うとともに、被害の著しい南予南部地域の個体数調整を、集中的かつ広域的に実施しました。またイノシシについては、捕獲作業が進んでいない自然公園（今治市：湯ノ浦地区）で捕獲作業を実施しました。



(2) ニホンジカ、イノシシの生活環境、農林業及び生態系に係る被害への対策に寄与するため、生息密度の推定を行いました。ニホンジカについては、県下 40 ルートでの糞塊密度調査の結果や捕獲頭数等から、イノシシについては、捕獲頭数等をもとに算出しました。

3 令和 6 年度実績

- (1) 実績額 5,299 千円（全体事業費 24,710 千円）
(2) 実施状況



森をつくる活動

4 事業期間 令和2年度～令和6年度

5 全体計画

事業内容	R2	R3	R4	R5	R6	計
計画	調査地点数 (生息密度) 40	40	40	40	40	200
	調査地点数 (植物被害) 17	17	17	17	17	85
	捕獲従事者数 (延べ) 400人	400人	400人	400人	400人	2,000人
	事業費 うち森林環境税 30,660千円 9,200千円	28,500千円 6,900千円	28,500千円 6,900千円	30,000千円 6,900千円	27,001千円 5,316千円	144,661千円 35,216千円
実績	調査地点数 (生息密度) 40	40	40	40	40	200
	調査地点数 (植物被害) 17	40	—	—	—	57
	捕獲従事者数 (延べ) 740人	356人	449人	396人	472人	2,413人
	事業費 うち森林環境税 27,567千円 8,866千円	21,157千円 3,905千円	20,629千円 4,661千円	23,518千円 5,093千円	24,710千円 5,299千円	117,581千円 27,824千円
実施箇所	【生息密度調査】 県内40地点 【植生衰退度調査】 県内80地点 【捕獲箇所】 石鎚山系、東予東部 地域、東予西部・中 予北東部地域、南予 南部地域	【生息密度調査】 県内40地点 【植生衰退度調査】 県内40地点 【捕獲箇所:シカ】 石鎚山系、東予東部 地域、東予西部・中 予北東部地域、南予 南部地域 【捕獲箇所:イノシシ】 今治市(塔ノ峰園地 周辺)	【生息密度調査】 県内40地点 【捕獲箇所:シカ】 石鎚山系、東予東部 地域、東予西部・中 予北東部地域、南予 南部地域 【捕獲箇所:イノシシ】 今治市(塔ノ峰園地 周辺)	【生息密度調査】 県内40地点 【捕獲箇所:シカ】 石鎚山系、東予東部 地域、東予西部・中 予北東部地域、南予 南部地域 【捕獲箇所:イノシシ】 松山市・今治市(奥 道後玉川県立自然 公園周辺)	【生息密度調査】 県内40地点 【捕獲箇所:シカ】 石鎚山系、東予東部 地域、東予西部・中 予北東部地域、南予 南部地域 【捕獲箇所:イノシシ】 今治市(湯ノ浦地区)	

⑥ 優良種苗確保事業（一部森林環境税事業）

林木の品種改良、種子採取源の整備等を行い、優良な種穂の供給を確保するとともに、林業躍進プロジェクトの推進に向けて、低コスト再造林の実現が課題となっていることから、通年植栽が可能なコンテナ苗、成長等が優れた第2世代精英樹（特定母樹・エリートツリー）、国が推進している花粉症対策品種苗木の利用拡大の促進を積極的に行います。

1 ポイント

私たちの生活を守る森林は、植え付けた苗木が立派に成長し成林するまでに、数十年を要します。

この間、保育作業をはじめ多くの人手と経費が投入され、厳しい自然環境のもとで森林は、病害虫や気象害の危険にさらされることになります。植え替えなどのやり直しができないことから、植え付けられる苗木の優劣は健全な森林を造成する上で大きな要因となってきます。

このため、県では優良種苗の安定供給を図るために、成長の優れた第2世代精英樹（特定母樹・エリートツリー）、花粉症対策品種、抵抗性マツなどの採取源を整備し、県民のニーズに対応した種苗の供給や苗木生産技術等の普及し、活力のある林業を目指します。

2 事業内容

事業名	事業内容
育種母樹林整備事業	県採種園（新居浜市・東温市・内子町）内の採種用母樹の育成及び着花結実を促進するためのジベレリン処理等を実施
花粉症対策品種等育成推進事業	花粉症対策品種の採穂園管理及びその普及啓発・育苗技術習得を実施
苗木供給体制整備事業 （※森林環境税事業）	第2世代精英樹や花粉症対策品種からなるミニチュア採種園の整備や、コンテナ苗木の生産拡大等の支援を実施
種子採取事業 （※森林環境税事業）	林業躍進プロジェクト等に基づき増産する優良種苗確保に必要な種子の採取を実施

3 令和6年度実績

(1) 実績額 25,799千円（全体事業費 32,985千円）

(2) 実施状況



4 事業期間 令和2年度～令和6年度

5 全体計画

事業内容		R2	R3	R4	R5	R6	計
計画	育種母樹林整備事業 ジベレリン処理	220本	220本	220本	220本	220本	1,100本
	花粉症対策品種等育成推進事業	一式	一式	一式	一式	一式	一式
	苗木供給体制整備事業 特定母樹	咲300本 ヒノキ100本 400本	咲400本 ヒノキ200本 600本	ヒノキ416本 500本	ヒノキ300本 300本	ヒノキ100本 100本	咲700本 ヒノキ1,200本 1,900本
	種子採取事業	一式	一式	一式	一式	一式	一式
	金額(千円)	40,015	40,128	38,654	40,070	40,070	198,937
実績	うち森林環境税(千円)	28,931	27,562	28,436	29,303	29,303	143,535
	育種母樹林整備事業 ジベレリン処理	220	220本	220本	220本	220本	1,100本
	花粉症対策品種等育成推進事業	一式	一式	一式	一式	一式	一式
	苗木供給体制整備事業 特定母樹	咲198本 ヒノキ11本 209本	咲226本 ヒノキ6本 232本	ヒノキ416本 416本	ヒノキ156本 156本	ヒノキ156本 428本	咲696本 ヒノキ745本 1,441本
	種子採取事業	一式	一式	一式	一式	一式	一式
金額(千円)		36,330	32,817	37,802	39,638	32,985	179,572
うち森林環境税(千円)		28,931	25,508	25,481	29,303	25,799	135,022
実施箇所		県内一円	県内一円	県内一円	県内一円	県内一円	

⑦ 林業躍進プロジェクト推進事業（一部森林環境税事業）

「えひめ農林水産業振興プラン2021」の目標達成に向けた「林業躍進プロジェクト(第2期)」に取り組むとともに、県民等に対し森林の理解を深める機会を創出します。

1 ポイント

令和3年3月に策定した「えひめ農林水産業振興プラン2021」及びその実行プログラムである「林業躍進プロジェクト(第2期)」の進行管理や県民との意見交換のための推進会議を開催します。また、プロジェクトの成果の普及を図り、スマート林業等の導入、団地設定等集約化を促進するなど、現地実証や精度検証を行うとともに、県民に向けた情報発信を行います。また、持続可能な森林経営の達成に資する「森林認証材」の販売体制を強化するとともに、動画等メディア配信等により、県民や企業に対し、森林・林業に対する理解を深める機会を創出し、森づくりへの参画を促進します。

2 事業内容

項目	取組内容
(1) 林業躍進プロジェクト(第2期) 推進事業	広く県民の意見を聴取するため、各地域における推進会議を開催 (参考者：市町、林業関係団体、森林所有者、製材・加工・流通業者等)
(2) 林業躍進プロジェクト普及事業	林業躍進プロジェクトを推進するに当たり、林業普及指導員が中心となって、主伐や再造林、スマート林業の導入施設の集約化の推進など、普及啓発を図るなどの広報活動経費等
(3) 森林認証材消費販売強化対策事業	民間レベルでの認知度向上に向けた、認証材製品の開発や円滑な認証材流通・販売を促すための検討会を開催
(4) 「えひめ森林・林業」情報発信事業	えひめの森林・林業に対するイメージアップを図るため、“えひめの森林・林業”ページを運営し、幅広く情報を配信する。

3 令和6年度実績

(1) 実績額 4,645千円 (全体事業費 6,609千円)

(2) 実施状況



林業躍進プロジェクト推進会議

4 事業期間 令和2年度～令和6年度

5 全体計画

事業内容		R2	R3	R4	R5	R6	計
計画	林業躍進プロジェクト推進会議の開催	4回	4回	4回	4回	4回	20回
	森林管理(FM)面積(増加量)	一	3,700ha	3,700ha	3,700ha	3,700ha	14,800ha
	事業費	818千円	3,513千円	3,449千円	2,971千円	8,025千円	18,776千円
	うち森林環境税	428千円	2,156千円	2,156千円	1,678千円	5,897千円	12,315千円
実績	林業躍進プロジェクト推進会議の開催	4回	1回	4回	4回	4回	13回
	森林管理(FM)面積(増加量)	一	3,152ha	3,053ha	4,044ha	4,840ha	15,089回
	事業費	323千円	2,190千円	2,922千円	2,556千円	6,609千円	14,600千円
	うち森林環境税	266千円	1,260千円	1,757千円	1,458千円	4,645千円	9,386千円
実施箇所		東予地方局、中予地方局、南予地方局(本局、八幡浜支局)	八幡浜市	東予地方局、中予地方局、南予地方局(本局、八幡浜支局)	東予地方局、中予地方局、南予地方局(本局、八幡浜支局)	東予地方局、中予地方局、南予地方局(本局、八幡浜支局)	

⑧ 県産大径材生産促進事業

高齢級化・大径木化が進む人工林において、生産される大径材の活用を進めるため、林内路網と林業機械の改良、集積場所の確保や生産管理など流通設備の導入などに対して支援を行うことにより、持続的な林業経営の確立を目指します。

1 ポイント

スギ・ヒノキを中心とする人工林においては高齢級化・大径木化が進んでおり、そこから生産される大径材の更なる活用を進めるためには、山から効率的かつ安定的に生産・流通させるシステムを構築するとともに新たな需要の開拓が必要となっています。

本事業では、大径材に対応できるよう、林内路網と林業機械の改良、集積場所の確保やサプライチェーン構築のための生産管理など流通設備の導入など先行的に取り組もうとしている事業体に対して支援を行うことにより、県内への波及効果が期待できるほか、持続的な林業経営の確立を目指します。

2 事業内容

項目	取組内容
(1) 生産基盤整備支援	大径材を安全かつ効率的に生産できる作業システムを構築するため、大径材に対応可能な林内路網の拡幅や林業機械の改良に要する経費の一部を支援します。
(2) 集積・保管場所確保支援	大径材用途の多様化に対応するため、集積・保管・仕分け場所（山土場や中間土場など）の確保や整備に要する経費の一部を支援します。
(3) サプライチェーン構築支援	県産材の需要が増す中、大径材を製材工場へ安定的に供給するためのサプライチェーン構築にあたり、大径材の生産管理等の機材の導入に要する経費の一部を支援します。

3 令和6年度実績

(1) 実績額 7,946千円

(2) 実施状況



生産基盤整備支援（久万広域森林組合）



集積・保管場所確保支援（宇摩森林組合）

4 事業期間 令和4年度～令和6年度

5 全体計画

事業内容		R4	R5	R6	計
計画	路網及び機械の改良箇所数	4 箇所	4 箇所	4 箇所	12 箇所
	土場整備数	5 箇所	5 箇所	5 箇所	15 箇所
	サプライチェーン構築数	2 体制	2 体制	2 体制	6 体制
	事業費	7,993 千円	7,993 千円	7,993 千円	23,979 千円
	うち森林環境税	7,993 千円	7,993 千円	7,993 千円	23,979 千円
実績	路網及び機械の改良箇所数	2 箇所	2 箇所	3 箇所	7 箇所
	土場整備数	3 箇所	0 箇所	1 箇所	4 箇所
	サプライチェーン構築数	2 体制	1 体制	0 体制	3 体制
	事業費	7,934 千円	7,956 千円	7,946 千円	23,836 千円
	うち森林環境税	7,934 千円	7,956 千円	7,946 千円	23,836 千円

⑨ 森林カーボンオフセット促進事業

県内におけるJ-クレジット（以下、クレジット）販売によるカーボンオフセットを促進し、民間企業への販売機会を創出するとともに、クレジット発行が可能な森林経営者に対して供給対策を行うことで、本県森林に係る排出権取引を活性化し、森林整備の資金に繋げることで、2050年カーボンニュートラルの達成に寄与します。

1 ポイント

県内におけるクレジット販売を促進するため、クレジット発行者と県内外の民間企業とのマッチング相談会を開催するほか、県内外の企業や団体へ営業活動を行います。

また、森林由来のクレジット供給を促進するため、森林経営者向けに意向調査やセミナーを実施し、新たなクレジット制度への理解度を高め、クレジット発行への意欲向上を図ります。

2 事業内容

項目	取組内容
(1) J-クレジット販売促進	県内クレジット発行者と県内外の民間企業とのマッチング相談会を開催するほか、県内外の企業や団体へ営業活動を行う。
(2) 森林クレジット供給対策	森林経営者向けに意向調査やセミナーを実施し、新たなクレジット制度への理解度を高め、クレジット発行への意欲向上を図る。

3 令和6年度実績

(1) 実績額 1,804千円（事業費 1,804千円）

(2) 実施状況



J-クレジット活用セミナー



関係機関との打合せ



J-VER 社会貢献活動に対する表彰

4 事業期間 令和5年度～令和6年度

5 全体計画

事業内容		R 5	R 6	計
計画	森林吸収系J-クレジット販売量	70 t -CO ₂	75 t -CO ₂	145 t -CO ₂
	マッチング商談会参加者数	6 者	6 者	12者
	セミナー参加者数	20名	30名	50名
	事業費	3,081 千円	2,772 千円	5,853 千円
	うち森林環境税	3,081 千円	2,772 千円	5,853 千円
実績	県産J-クレジット販売量	232 t -CO ₂	398 t -CO ₂	630 t -CO ₂
	マッチング商談会参加者数	7 者	一 者	7 者
	セミナー参加者数	37名	63名	100名
	事業費	2,330 千円	1,804 千円	4,134 千円
	うち森林環境税	2,330 千円	1,804 千円	4,134 千円

⑩ スマート林業人材育成研修事業（一部森林環境税事業）

森林・林業分野においても I C T 等の D X 技術を活用して施業の効率化を図ることが期待されているため、林業事業体を対象とする研修を実施してスマート林業を実現する人材を育成します。

1 ポイント

ウッドショックなどを背景に国産材の需要が高まる一方、林業分野でも担い手の減少が進んでおり、I C T 等の D X 技術を活用した業務の効率化を図ることが不可欠となっています。

本事業では、林業研究センターが林業事業体等の従事者を対象に、林業に係る D X の基礎から、携帯型森林情報システム等の活用、ドローンを使用した効率化技術等を体系的に修得できる実習を行うことで、D X 技術を林業の現場でフル活用できるスマート林業人材の育成に取り組むこととしています。

スマート林業においては、施業計画から造林・伐採・搬出、流通などに至る工程において、D X 技術をフル活用することを目指しており、スマート林業人材を育成することで、これら各段階における労働負荷の軽減、作業の安全確保、生産性向上を推進することとしています。

2 事業内容

(1) スマート林業技術研修

区分	項目	目的	日程	定員、回数	受講対象
D X 基礎技術研修		スマート林業基礎的知識を有する人材を育成するため、I C T / I O T 、ドローン、A I 、森林クラウド、サプライチェーンマネジメント等の最新技術の可能性と利用方法に関する幅広い知識の習得	1 日間 (室内のみ)	人数：50 名、 回数：1 回 実績：64 名	県・市町職員、森林組合、林業事業体の職員
D X 実践技術研修	①携帯型森林情報システム（フォレストトラッカ）	現在における位置情報と森林情報の迅速に把握することが可能となる当該システムの利用方法の習得	1 日間 (現地 1 日、室内 1 日)	人数：4 名 回数：3 回 実績：15 名	森林組合、林業事業体の職員
	②地理情報システム（G I S）	森林の位置情報に関するデータを総合的に管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能とする当該システムの利用方法の習得	1 日間 (室内のみ)	人数：4 名 回数：3 回 実績：15 名	
	③デジタルコンパス	林地の周囲測量の迅速化、省力化	1 日間 (現地：半日、室内：1 日)	人数：4 名 回数：3 回 実績：15 名	
	④衛星測位システム（G N S S）	地上での現在位置を正確に計測し、取得データによる面積測定等を可能とする当該システムの利用方法を習得する。	1 日間 (現地：半日、室内：半日)	人数：4 名 回数：3 回 実績：15 名	
D X 応用技術研修	⑤ドローン基本操作	ドローンに関する基礎知識と操作技術の習得	1 日間 (現地のみ)	人数：4 名 回数：3 回 実績：15 名	
	⑥ドローン空撮	ドローン空撮技術の習得	1 日間 (現地のみ)	人数：4 名 回数：3 回 実績：15 名	
	⑦ドローン解析	ドローンにより取得したデータを解析、利用するための技術の習得	1 日間 (室内のみ)	人数：12 名 回数：1 回 実績：15 名	
	⑧地上レーザースキャナー	地上レーザースキャナーによる正確かつ迅速な林内情報の取得及び利用技術の習得	1 日間 (現地：半日、室内：半日)	人数：12 名 回数：1 回 実績：15 名	
	⑨ドローン運搬	労働負荷軽減を可能とする運搬用ドローンの利用方法の習得	1 日間 (現地：半日、室内：半日)	人数：12 名 回数：1 回 実績：15 名	
	⑩ICT ハーベスター	1 本の丸太から販売価格が最大となるよう自動で採材や仕分けを可能とする ICT ハーベスターの医療技術の習得	1 日間 (現地：半日、室内：半日)	人数：12 名 回数：1 回 実績：15 名	

森をつくる活動

3 令和6年度実績

(1) 実績額 1,715千円（全体事業費 3,045千円）

(2) 実施状況



DX基礎技術研修



DX実践技術研修



DX応用技術研修



DX応用技術研修

4 事業期間

令和5年度～令和6年度

5 全体計画

事業内容	R5	R6	計	
計画	研修受講者数 事業費 うち森林環境税	50人 12,560千円 2,754千円	50人 4,995千円 1,996千円	100人 17,555千円 4,750千円
	研修受講者数 事業費 うち森林環境税	46人 9,915千円 0千円	64人 3,045千円 1,715千円	110人 12,960千円 1,715千円
	実施箇所	県内一円	県内一円	

(11) エリートツリー活用省力化モデル事業（一部森林環境税事業）

成長の早いエリートツリーを活用し、育林の省力化と経費節減の実証や県産「スギ」エリートツリーの品種開発を行い、造林・保育作業者の労働環境の改善と定着率向上を図ります。

1 ポイント

県産材の増産と森林の若返りを図るため、林業躍進プロジェクトでは、主伐・再造林を推進してきたところですが、造林・保育作業者の数は、高齢化や労働強度などを理由に減少傾向にあります。

本事業では、在来品種に比べ、成長が早く、下刈り回数や植栽本数の削減を可能とする「エリートツリー」を活用し、育林の省力化など造林・保育作業の軽減効果を実証するとともに、現地研修会を開催し、エリートツリーの普及啓発を行い、労働環境の改善及び定着率向上を図ります。

2 事業内容

事業名	事業内容
エリートツリーモデル事業	エリートツリーを活用した労働負荷軽減効果の高い技術を実証するため、スギ・ヒノキのエリートツリーモデル林を整備
研修会の開催	エリートツリーの普及啓発を図るため、モデル事業の成果報告や林業用ドローンを使用した苗木運搬の実践など研修会を開催

3 令和6年度実績

- (1) 実績額 4,665千円 (全体事業費 5,256千円)
 (2) 実施状況



モデル林整備（西予市）



研修会（久万高原町）

4 事業期間 令和5年度～令和6年度

5 全体計画

事業内容		R5	R6	計
計画	エリートツリーモデル事業	25ha	25ha	50ha
	研修会の開催	一式	一式	一
実績	金額（千円）	5,600	5,600	11,200
	うち森林環境税（千円）	5,000	5,000	10,000
	エリートツリーモデル事業	25ha	24ha	49ha
	研修会の開催	1回	1回	2回
	金額（千円）	5,436	5,256	10,692
	うち森林環境税（千円）	4,909	4,665	9,574
実施箇所		県内一円	県内一円	

⑫ えひめ農林水産業魅力発信事業費（一部森林環境税事業）

えひめ愛顔の農林水産人を活用して、学生等の次世代を担う人物に対し、林業に関わる機会を創出することで、林業のイメージを新3K（稼げる、かっこいい、感動を楽しめる）に変えます。この取り組みによって、次世代人材の掘り起こしを図り、公益的機能を持つ森林を整備する新たな林業の担い手の確保につなげます。

1 ポイント

森林の持つ公益的機能を發揮するためには、適切な森林整備とそれに伴う木材生産の実施、搬出される木材の多面的利用を推進する必要があります。しかし、森林整備を行う林業の担い手は、減少しており、時代の要請に応える林業の担い手の確保が急務となっています。

このため、えひめ愛顔の農林水産人を活用して、県内の高校生に対する林業体験研修を実施し、林業に関わる機会を創出することで、林業のイメージを新3K（稼げる、かっこいい、感動を楽しめる）に変える契機となり、次世代人材の掘り起こしを図り、新たな担い手の確保につなげます。

2 事業内容

林業への就業意欲向上を目的として、えひめ愛顔の農林水産人を活用して、県内高校生等に対して出前授業（林業作業の基礎的体験研修）を実施する。林業の魅力を林業従事者目線でPRすることで、林林業に対する理解の促進を図る。

対象校	学年・人数	研修概要	実施時期	講師 (えひめ愛顔の農林水産人)
西条農業高等学校	環境工学科 2年生 11名	チェーンソーの仕組み、分解、組み立てについて、林業の話	R6. 6	平川 紗也 (西条市)
	環境工学科 2年生 13名	伐木実習、林業機械体験	R7. 2	宇佐美 克弥 (西条市)
今治南高等学校	園芸クリエイト科 2年生 28名	搬出間伐現場の視察、高性能林業機械・チェーンソー操作体験	R6. 11	井門 孝三郎 (今治市)
三崎高等学校	普通科 2年生 57名	高性能林業機械操作体験、チェーンソー体験、ドローン体験	R6. 10	松本 慎一郎 (西予市)
野村高等学校	畜産課 1年生 18名	森林調査、高性能林業機械・チェーンソー操作体験	R6. 11	松本 慎一郎 (西予市)
北宇和高校	生産食品課 2年生 24名	林業の仕事について、チェーンソー体験、高性能林業機械	R6. 10	山内 翔平 (鬼北町)

3 令和6年度実績

- (1) 実績額 873千円（全体事業費 2,147千円）
 (2) 実施状況



チェーンソー操作体験



チェーンソー操作体験



高性能林業機械（グレップル）操作体験



森林・林業の仕事について説明

4 事業期間 令和5年度～令和6年度

5 全体計画

事業内容		R5	R6	計
計画	林業年間新規就業者数 (森林環境税分)	60人	60人	120人
	事業費	15,988千円	13,115千円	29,103千円
	うち森林環境税	1,316千円	1,318千円	2,634千円
実績	林業年間新規就業者数 (森林環境税分)	65人	45人	110人
	事業費	13,954千円	2,147千円	16,101千円
	うち森林環境税	986千円	874千円	1,860千円
実施箇所		県下一円	県下一円	県下一円

森をつくる活動

⑬ 新規林業就業者育成事業費

林業への新規就業者を確保するため、林業事業体と就業希望者とのマッチングを促進する就業相談会を開催します。

1 ポイント

森林の持つ公益的機能を発揮するためには、適切な森林整備とそれに伴う木材生産の実施、搬出される木材の多面的利用を推進する必要があります。しかし、森林整備を行う林業の担い手は、減少しており、時代の要請に応える林業の担い手の確保が急務となっています。

このため、林業労働力確保支援センターを中心として、県内の林業事業体と就業希望者とのマッチングを促進する就業相談会を開催し、幅広く林業の担い手を確保します。

2 事業内容

林業の新規就業者を確保するため、林業労働力確保支援センターが中心となり、就業相談会「森林の仕事ガイドンス」を年2回開催し、就業希望者が広く林業に関する情報（林業の仕事の特色や作業内容等）を収集する機会や就業に向けて不安に思っていることに対して相談できる機会を創出します。

3 令和6年度実績

- (1) 実績額 2,745千円（全体事業費 2,745千円）
(2) 実施状況



松山市会場



松山市会場



西条市会場



西条市会場

4 事業期間

令和6年度

5 全体計画

事業内容		R6	計
計画	新規林業就業者数	60人	60人
	事業費	2,775千円	2,775千円
	うち森林環境税	2,775千円	2,775千円
実績	新規林業就業者数	45人	45人
	事業費	2,745千円	2,745千円
	うち森林環境税	2,745千円	2,745千円
実施箇所		県内一円	

① 木質バイオマス利用促進事業

木質バイオマスの利用拡大を促進するとともに、林地残材を資源化する体制の構築を支援し、中山間地域を支える林業の振興、木材の利用拡大を図ります。

1 ポイント

本事業では、森林整備により発生した林地残材等の木質バイオマス利用を進めるため、木質バイオマスの搬出に係る経費の支援を行い、製紙用チップや木質ペレット等の原料として安定的に利用する事業を促進するとともに、未利用材の生産流通システムの構築・検証を支援します。

2 事業内容

(1) 木質バイオマス利用促進事業

①木質バイオマス有効活用事業

製材の用途に不向きな低質材や、林内に放置されている林地残材を、製紙用原料、木質ペレット等として利用するための支援を行い、林業の振興と木質バイオマスの利用促進による二酸化炭素貯蔵効果の発揮に貢献します。

②林地残材資源化促進事業

林内に放置されている不定形な林地残材を木質バイオマス発電用途に向けて供給する取組を支援します。

(2) 木質バイオマスエネルギー利用普及促進事業

県内における中小木材産業の木質バイオマス利用を促進するため、エネルギー利用の実態調査を行うとともに、施設導入計画等の作成を支援し、エネルギー効率の向上を図ります。

3 令和6年度実績

(1) 実績額 17,900 千円

(2) 実施状況

○木質バイオマス有効活用事業[2,074 千円]

製材の用途に不向きな低質材、林内に放置されている林地残材の製紙用原料利用、木質ペレット等の利用を進めるため、木質バイオマス搬出経費に対し支援を行いました。

事業内容	補助対象材積 (m ³)
低質材の有効活用に対する補助 (3 社)	4,148

○林地残材資源化促進事業[14,534 千円]

林内に放置されている林地残材をバイオマス発電に用いるため、林地残材の搬出経費に対し支援を行いました。

事業内容	補助対象材積 (t)
林地残材の資源化に対する補助 (2 社)	26,236

○木質バイオマスエネルギー利用普及促進事業[1,292 千円]

県内における中小木材産業の木質バイオマス利用を促進するため、エネルギー利用実態調査等を行いました。

木をつかう活動

(3) 事業イメージ



事業内容		R2	R3	R4	R5	R6	計
計画	低質材の有効利用量	6,000m ³	30,000m ³				
	林地残材等の資源化量	17,000t	17,000t	20,000 t	24,000 t	24,000 t	102,000 t
	事業費	21,230 千円	21,230 千円	21,230 千円	24,730 千円	24,730 千円	113,150千円
実績	うち森林環境税	21,230 千円	21,230 千円	21,230 千円	24,730 千円	24,730 千円	113,150千円
	低質材の有効利用量	4,900m ³	6,000m ³	6,000m ³	4,360m ³	4,148m ³	25,408m ³
	林地残材等の資源化量	31,833t	29,799t	30,405t	36,822t	26,236t	155,095t
	事業費	21,103千円	20,580千円	20,222千円	23,898千円	17,900千円	103,703千円
	うち森林環境税	21,103千円	20,580千円	20,222千円	23,898千円	17,900千円	103,703千円
実施箇所		県内	県内	県内	県内	県内	

② C L T 等建築物建設促進事業

地域材を利用した公共施設の木造化・木質化や、本県が全国に先駆けて普及を図っているC L T(直交集成板)の利用を支援し、県産材の更なる利用促進を図り、脱炭素社会の実現を目指します。

1 ポイント

県内で製造されるC L T等県産材を活用し、民間のC L T建築物への建設・設計支援や設計技術者等の育成、一般県民への普及・PRを推進します。

2 事業内容

(1) C L T建築物建設促進事業

① C L T建築物支援事業（事業主体：民間事業者）

C L Tの需要拡大のため、民間の商業施設をはじめとする非住宅分野における建設・設計に対し支援を行い、C L T建築物の建設を促進させることで、C L Tの需要拡大を図ります。

② C L T建築物普及促進事業（事業主体：県（委託先：愛媛県C L T普及協議会））

設計士、施工業者及び加工業者等の実務者を対象に実務的な体験型セミナーを開催し、C L Tに関する実務者の育成を図るほか、一般消費者等への普及PRにより、C L T建築物の建設を促進します。

③ C L T普及促進情報整備事業（事業主体：県）

既存のC L T建築物における住環境評価を検証し、結果を販売促進活動に活用することで、C L T建築物の建設促進を図ります。

④ 普及促進事業（事業主体：県）

(一社)日本C L T協会等が実施する研修会やセミナー等の各種活動に参加するほか、普及効果の高いC L T建築物の建設事例や各種工法の情報収集を実施し、県内でのC L T利用を普及・促進します。

(2) 木材利用推進事業

① 県関連施設整備事業（事業主体：市町）

市町が行う県関連施設の木造化に対する経費を補助します。

② 公共的施設等木材利用促進支援事業（事業主体：民間事業者）

公共的な役割を果たす民間施設を対象に、建築物の木造化等に対する経費を補助します。

③ 公共的施設木製家具等普及促進支援事業（委託先：(一社)愛媛県木材協会）

幅広く利用者への普及効果が見込まれる民間施設に対する木製家具等の導入を支援します。

3 令和6年度実績

(1) 実績額 68,602千円

(2) 実施状況

○C L T建築物建設促進事業

①C L T建築物支援事業

C L Tの建設を促進させるため、民間事業者が建設するシンボリックなC L T建築物の設計・建設に対する支援を行いました。（設計支援5件、建設支援4件）

②C L T建築物普及促進事業

市町や設計実務者等を対象とした研修会及び体験型セミナーを実施し、C L T建築物の建設促進を図りました。

③C L T普及促進情報整備事業

C L T建築物における住環境性能の環境評価を検証し、販路開拓のツールとして活用を図りました。

④普及促進事業

C L T加工施設の導入や建設に向けて先進事例を調査するとともに、各種イベント等において、C L Tの利点や活用事例などを紹介し、普及啓発に努めました。



C L T建築物支援事業（ヒカリ歯科・矯正歯科）



普及促進事業（体験型セミナーの開催）

木をつかう活動

○木材利用推進事業

①県関連施設整備事業

事業内容	事業主体	施設名	施設概要	木材使用量	補助金額
公共施設内装木質化事業	砥部町	砥部町教育寮トベリエ	鉄骨造2階建て	5.11 m ³	5,000千円

②公共的施設木材利用促進事業

四国旅客鉄道（株）、日本マクドナルド（株）、（株）伊予銀行の施設木造化等に対し支援を実施しました。

③公共的施設木製家具等普及促進事業

木材の素晴らしさを伝えるため、公共的施設に県産材で製作したベンチやテーブルなど木製家具の設置支援を行いました。



公共的施設木材利用促進事業
(JR松山駅)



公共的施設木製家具等普及促進支援事業
(愛媛銀行)

4 事業期間 令和2年度～令和6年度

5 全体計画

事業内容		R2	R3	R4	R5	R6	計	
計画	C L T建築物数	5施設	5施設	5施設	5施設	5施設	25施設	
	セミナー回数	5回	2回	3回	3回	3回	16回	
	公共施設数	5施設	7施設	5施設	5施設	5施設	27施設	
	事業費	67,088千円	92,134千円	71,348千円	58,376千円	77,963千円	366,909千円	
実績	うち森林環境税	67,088千円	92,134千円	71,348千円	58,376千円	77,963千円	366,909千円	
	C L T建築物数	4施設	4施設	3施設	6施設	4施設	21施設	
	セミナー回数	2回	2回	3回	3回	3回	13回	
	公共施設等数	4施設	7施設	3施設	2施設	9施設	25施設	
実施箇所	事業費	57,524千円	84,627千円	57,480千円	56,958千円	68,602千円	325,191千円	
	うち森林環境税	57,524千円	84,627千円	57,480千円	56,958千円	68,602千円	325,191千円	
		○C L T建築物建設促進事業 店舗 1施設 事務所 2施設 加工施設 1施設 ○木造公共施設整備事業 事務所 1施設 認定こども園 1施設 ○小規模木造施設整備事業 公園施設 1施設 学校施設 1施設	○C L T建築物建設促進事業 研修施設 1施設 共同住宅 1施設 展示施設 1施設 加工施設 1施設 ○木造公共施設整備事業 事務所 1施設 認定こども園 1施設 ○小規模木造施設整備事業 公園施設 1施設 学校施設 1施設	○C L T建築物建設促進事業 木質バイオマス 発電施設 1施設 加工施設 1施設 保養施設 1施設 ○木造公共施設整備事業 事務所 5施設 協同住宅 1施設 ○木造公共施設整備事業 公民館 2施設 ○小規模木造施設整備事業 公園施設 1施設	○C L T建築物建設促進事業 事務所 1施設 ○木造公共施設整備事業 学生寮 1施設 ○公共的施設木材利用促進事業 空港 1施設	○C L T建築物建設促進事業 事務所 2施設 倉庫 1施設 医療機関 1施設 ○公共施設内装木質化事業 学生寮 1施設 ○公共的施設木材利用促進事業 駅舎 1施設 銀行 1施設 店舗 1施設 ○公共的施設木製家具等普及促進事業 銀行 3施設 団体 1施設 交流施設 1施設		

③ 木の香る公園施設整備事業

利用者に優しい木材を使用した公園施設の整備を進めていきます。

1 ポイント

「木をつかう」事業の一環として、県管理の都市公園において、休憩所、ベンチや分煙パーテーションなどの新たな施設を木製品で整備することにより、利用者が優しく暖かみを感じることができる公園の整備を進めるとともに、景観的にも周囲の樹木と調和した緑豊かな安らぎ空間を提供するものである。

※県管理の都市公園

県営総合運動公園（とべ動物園を含む）、道後公園、南予レクリエーション都市公園

2 事業内容

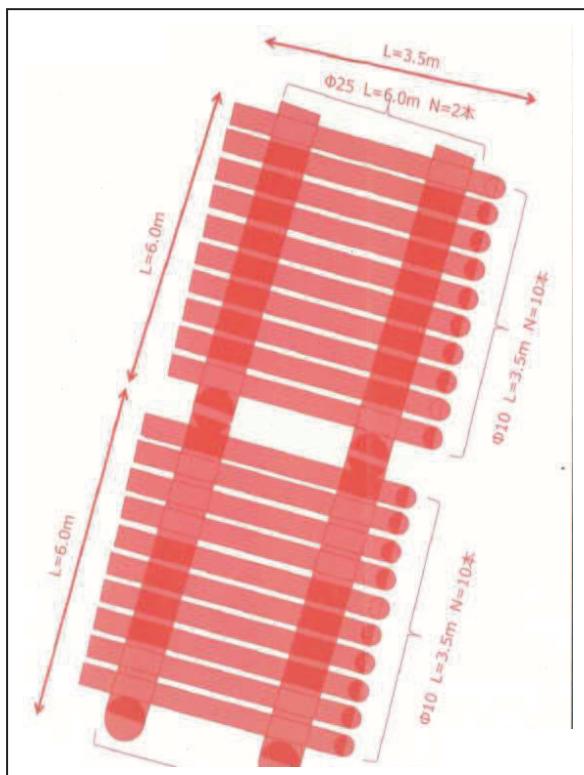
- 事業箇所 県営総合運動公園（とべ動物園）
(伊予郡砥部町上原町 240 番地)
- 施設概要 藤棚 1式
- 整備効果 とべ動物園に木製の藤棚を設置することは、公園利用者にうるおいとやすらぎの空間を提供するとともに、周囲樹木等と調和した景観の向上が期待できる。
また、さまざまな人々が集い、ふれあいの場となる都市公園に間伐材を利用した設を設置することで、木材に対する理解や関心を深めることになり、木材の利用促進にも寄与する。

3 令和6年度実績

(1) 実績額 2,000 千円

(2) 実施状況

公園名・地区名	事業主体	事 業 内 容	事業費	備 考
とべ動物園	愛媛県	藤棚	2,000 千円	
計			2,000 千円	



木をつかう活動

4 事業期間 令和2年度～令和6年度

5 全体計画

事業内容		R2	R3	R4	R5	R6	計
計 画	ふれあう人数	71,300人	36,800人	72,400人	36,800人	110,000人	327,300人
	木材使用量 (m3)	0.05	7	0.3	2	1.1	10.5
	事業費	2,500千円	2,000千円	2,000千円	2,000千円	2,000千円	10,500千円
	うち森林環境税	2,500千円	2,000千円	2,000千円	2,000千円	2,000千円	10,500千円
実 績	ふれあう人数	32,400人	21,500人	50,400	31,000人	82,700人	218,000人
	木材使用量 (m3)	0.05	7	0.21	1.8	1.0	10.1
	事業費	2,500千円	2,000千円	2,000千円	2,000千円	2,000千円	10,500千円
	うち森林環境税	2,500千円	2,000千円	2,000千円	2,000千円	2,000千円	10,500千円
実施箇所		県営総合運動公園 (分煙バーティション)	南レク第1号公園 (パーク)	県営総合運動公園 (分煙バーティション)	南レク第1号公園 (ウッドデッキ)	とべ動物園 (藤棚)	

④ えひめ材住宅普及啓発事業

県産材や木造住宅の良さを普及啓発する相談窓口の開設・運営や県産材製品を利用する住宅等の新築やリフォーム、工務店等が実施する県産材の普及PR活動を支援し、県産材の需要拡大を図ります。

1 ポイント

木材や木造住宅の良さを普及啓発する相談窓口の開設・運営や良質な県産材製品を利用する住宅等の新築やリフォーム、工務店等が実施する県産材の普及 PR 活動を支援するとともに、住宅等における県産材の需要拡大を図り、木材利用による持続的な森林整備を推進します。

2 事業内容

(1) 木と暮らしの相談窓口開設支援事業

木造住宅等に関する相談窓口を開設し、県産材や木造住宅の良さを普及啓発する活動を支援します。

- ①相談窓口の設置（常設）
- ②研修会等の開催（設計・施工者向け）
- ③出前木材利用相談窓口
- ④見学会の開催（消費者向け）
- ⑤住宅関係の情報発信（イベント出展、HP等）
- ⑥木をつかう教育等の促進

(2) えひめ材の家づくり促進支援事業

木造住宅を建設する施主に対して県産柱材を無償提供し、県産材の利用拡大を促進します。

- 提供柱材 1棟当たり 64本以内：（県産材）147千円/件
（県産森林認証材）179千円/件

(3) 住宅等リフォーム木材利用促進事業

個人住宅や店舗等のリフォームを行う施主に対して、県産材製品の利用を支援します。

- 支援内容 住宅等1件当たり 100千円（下限）～140千円（上限）

(4) 外構施設木材利用促進事業

個人住宅や店舗等に木製外構施設を設置する施主に対して、県産材製品の利用を支援します。

- 支援内容 住宅等1件当たり 100千円（下限）～140千円（上限）

3 令和6年度実績

(1) 実績額 48,152千円

(2) 実施状況

○木と暮らしの相談窓口の開設

相談受付時間 9:00～17:00（休館日：日、祝祭日）

木造住宅に関する専門相談（695件）

○えひめ材の家づくり促進支援事業

木造住宅を建設する施主に対して、県産柱材（64本/棟）を無償提供（205棟）

○住宅等リフォーム木材利用促進事業

個人住宅や店舗等のリフォームを行う施主に対して、県産材製品の利用を支援（54棟）

○外構施設木材利用促進事業

個人住宅や店舗等に木製外構施設を設置する施主に対して、県産材製品の利用を支援（17棟）



えひめ材の家づくり促進支援事業



えひめ材の家づくり促進支援事業



住宅等リフォーム木材利用促進事業



外構施設木材利用促進事業

4 事業期間 令和2年度～令和6年度

5 全体計画

事業内容		R2	R3	R4	R5	R6	計
計画	相談窓口相談件数	600件	600件	600件	600件	600件	3,000件
	柱材提供件数	300件	300件	300件	300件	300件	1,500件
	住宅等リフォーム木材利用件数	100件	85件	85件	85件	85件	440件
	外構施設木材利用件数	20件	20件	20件	20件	20件	100件
	県産材普及 PR 実施件数	-	5件	5件	-	-	10件
	事業費	72,386千円	71,332千円	71,332千円	70,373千円	70,373千円	355,796千円
実績	うち森林環境税	72,386千円	71,332千円	71,332千円	70,373千円	70,373千円	355,796千円
	相談窓口相談件数	900件	727件	755件	627件	695件	3,704件
	柱材提供件数	318件	350件	345件	274件	205件	1,492件
	住宅等リフォーム木材利用件数	91件	52件	56件	60件	54件	313件
	外構施設木材利用件数	34件	25件	22件	21件	17件	119件
	県産材普及 PR 実施件数	-	4件	2件	-	-件	6件
事業費		72,206千円	70,943千円	70,646千円	59,360千円	48,152千円	321,307千円
うち森林環境税		72,206千円	70,943千円	70,646千円	59,360千円	48,152千円	321,307千円
実施箇所		県内	県内	県内	県内	県内	

⑤ 愛媛県産材製品市場開拓促進事業

品質管理、多様な製品供給、安定供給といった信頼性のある県産材の販売体制整備や大消費地での市場開拓に対して支援するとともに、木材の新たな利用用途開発を支援することで、林業経営の安定と森林整備を推進します。

1 ポイント

愛媛県産材製品市場開拓協議会が行う3大都市圏等の大消費地における愛媛県産材やC L Tの販路拡大を支援するとともに、有力な木材需用者に対する知事トップセールスやマッチング商談会を実施し、県産材の需要拡大を促進します。

2 事業内容

(1) 販売体制整備事業【事業主体：愛媛県産材製品市場開拓協議会】

- 3大都市圏等における大手商社・住宅メーカー、設計事務所等に対するセールス等の実施
- 県産材製品の販売の体制整備

(2) 愛媛県産材販売促進事業【事業主体：愛媛県(一部委託(愛媛県産材製品市場開拓協議会))】

- 首都圏の大手商社、住宅メーカー等を対象にマッチング商談会を実施するとともに、展示会等への出展により、効率的に商談機会を創出するとともに、有力木材需用者への知事トップセールスを実施するなど、県産材製品の販路開拓を実施します。

(3) 新たな県産材利用促進事業【事業主体：民間事業者等】

- 県産材を使用した新商品や利用方法の開発に取り組もうとする民間企業への支援
- 新たな県産材の利用方法等に関する説明会を実施

3 令和6年度実績

(1) 実績額 13,566千円

(2) 実施状況

○販売体制整備事業

大手商社・プレカット工事等に対する営業活動を支援し、新たな販路拡大を行いました。

○愛媛県産材販売促進事業

愛媛県産材のPRのため、首都圏等大消費地で開催される展示会に出展しました。

・非住宅 木造建築フェア 2024(R6.5.30~31) (東京ビックサイト)

・WOODコレクション 2024Plus (R6.12.19~20) (東京ビックサイト)

県内外において県産材マッチング商談会を実施しました。

・木材関係者を招待して商談会を実施 (R6.11.20) (愛知県名古屋市)

○新たな県産材利用促進事業

・民間企業等のアイディアを活かし、製材製品以外の県産材の利用商品や利用方法の開発に対し、以下のとおり支援を行いました。(4件)

事業主体	実施内容
株式会社モノツク工業	県産材を利用した防災用品収納BOXの開発
愛媛県森林組合連合会	県産材(クヌギ)を利用した木製家具の開発
Little Branch	県産材を利用したスツールやサイドテーブルの開発
合同会社木生活	県産のヒノキを活用した「ヒノキ風呂」の開発
計	4件

木をつかう活動



非住宅 木造建築フェア 2024 での県産材 P R (R6. 5. 30～31)



WOOD コレクション 2024Plus (R6. 12. 19～20)



名古屋市内の木材市場での県産材展示・販売会 (R6. 11. 20)

4 事業期間 令和 2 年度～令和 6 年度

5 全体計画

事業内容		R2	R3	R4	R5	R6	計
計画	県産材マッチング商談会の実施	3回	3回	3回	3回	3回	15回
	建材関係展示会への出展	2回	2回	2回	2回	2回	10回
	新たな県産材利用件数	5件	5件	4件	4件	4件	22件
	事業費	14,800千円	14,690千円	13,710千円	13,710千円	13,710千円	70,620千円
	うち森林環境税	14,800千円	14,690千円	13,710千円	13,710千円	13,710千円	70,620千円
実績	県産材マッチング商談会の実施	2回	4回	4回	4回	4回	18回
	建材関係展示会への出展	1回	3回	5回	4回	3回	16回
	新たな県産材利用件数	6件	6件	6件	4件	4件	26件
	事業費	13,784千円	14,336千円	13,534千円	13,429千円	13,566千円	68,649千円
	うち森林環境税	13,784千円	14,336千円	13,534千円	13,429千円	13,566千円	68,649千円

⑥ 特用林産物生産販売促進事業（一部森林環境税事業）

特用林産物における生産者の確保及び収量の安定化や生産基盤の強化に加えて、しいたけ原木供給支援、消費宣伝活動、新たな販路開拓やしいたけ生産による林福連携の推進等により、価格向上と産地化を目指すとともに、地域の資源を活用した農山村地域の活性化を図ります。

1 ポイント

乾しいたけや乾たけのこ等の特用林産物は、本県の林業産出額の5割を占めるなど、林産物とともに地域経済の活性化や雇用の確保に大きな役割を占めているものの、生産者の減少や気候変動による豊凶等の影響もあり、生産量が思うように伸びていない状況にあります。

そこで、生産者の確保及び収量の安定化や生産基盤の強化に加えて、しいたけ原木供給支援、新たな販路の開拓、しいたけ生産による林福連携の推進等により、価格向上と産地化を目指すとともに、地域の資源を活用した農山村地域の活性化を図ります。

2 事業内容

事 業 名	事 業 内 容
(1) 特用林産物生産 促進支援事業	原木の拡大生産分及び新品種を活用した原木導入経費、生産・加工施設整備、しいたけ原木供給の支援、販売促進や営業活動、料理コンテストの開催及びしいたけ生産による林福連携の推進を行う。
(2) 特用林産物生産基盤整 備事業	乾しいたけや乾たけのこ等特用林産物の産地を維持するため、関係団体と連携を図り、乾たけのこ生産、増産に取り組もうとする森林組合等に対し、生産量の確保・増産を支援するため、作業道開設及び生産・加工に係る施設整備経費に対して助成を行う。
(3) 特用林産物販売・消費 拡大支援事業	特用林産物の認知度向上と消費拡大を図るため、県内の飲食店に対する営業活動やコラボ商品の開発促進、採用されたメニューや店舗について、情報誌やメディアを活用し県民に広く周知する。

3 令和6年度実績

- (1) 実績額 18,616千円（全体事業費 19,196千円）
- (2) 実施状況



料理コンテスト



林福連携の取り組み



乾しいたけ料理の提供による
消費拡大支援

4 事業期間

令和2年度～令和6年度

5 全体計画

事業内容		R2	R3	R4	R5	R6	計
計画	ふれあう人数	200人	200人	200人	200人	200人	1,000人
	木材使用量	3,965m ³	19,825m ³				
	乾たけのこ生産面積	362ha	372ha	382ha	392ha	402ha	402ha
	事業費	25,010 千円	24,463 千円	19,825 千円	19,625 千円	20,648 千円	109,571 千円
	うち森林環境税	24,611 千円	23,631 千円	19,131 千円	18,928 千円	19,951 千円	106,252 千円
実績	ふれあう人数	121人	103人	171人	176人	216人	787人
	木材使用量	3,322m ³	3,113m ³	2,400m ³	2,061m ³	3,939m ³	14,835m ³
	乾たけのこ生産面積	363ha	405ha	429ha	344ha	355ha	1,896ha
	事業費	24,463 千円	22,250 千円	19,056 千円	15,257 千円	19,196 千円	100,222千円
	うち森林環境税	23,682 千円	21,599 千円	18,478 千円	14,627 千円	18,616 千円	97,002千円
実施箇所		県下全域	県下全域	県下全域	県下全域	県下全域	

⑦ 南予家畜保健衛生所整備事業（一部森林環境税事業）

新たに整備する南予家畜保健衛生所棟の玄関フロアや研修室の内装等を、県産木材を使って木質化します。

1 ポイント

「木をつかう」活動の一環として、西予市宇和町へ新設移転する南予家畜保健衛生所において、県民が利用する機会が多い、玄関フロアや研修室の内装等を木質化することで、木材利用の推進をPRする。

2 事業内容

- 事業箇所 南予家畜保健衛生所（西予市宇和町）
- 施設概要 南予家畜保健衛生所棟（RC造・平屋建て/延床面積 650.66m²/事務室、研修室、検査室）
 - 解剖・焼却棟（S造・平屋建て/延床面積 241.00m²）
 - 車両消毒設備棟（S造・平屋建て/延床面積 25.00m²）
 - 防疫資材備蓄倉庫（S造・平屋建て/延床面積 239.25m²）
 - 車庫（S造・平屋建て/延床面積 72.00m²）、ポンプ室（RC/延床面積 3.00m²）
- 整備効果 南予家畜保健衛生所棟の玄関フロアや研修室の内装等の木質化は、県民が施設を訪れた際に木材への魅力や関心を引き起こさせ、木材の利用促進に寄与する。

3 令和6年度実績

- (1) 実績額 2,081千円（全体事業費 579,154千円）
- (2) 実施状況

玄関フロア



研修室



4 事業期間

令和6年度

5 全体計画

事業内容		R6	計
計画	木材使用量	11.5m ³	11.5m ³
	事業費	665,698千円	665,698千円
実績	うち森林環境税	2,081千円	2,081千円
	木材使用量	11.5m ³	11.5m ³
	事業費	579,154千円	579,154千円
	うち森林環境税	2,081千円	2,081千円
実施箇所		南予家畜保健衛生所棟の玄関フロア 内装腰壁など	

⑧ 愛媛県立北宇和高等学校馬術部厩舎改築事業（高等学校修繕費）

県内唯一馬術部を有する北宇和高校の活動環境を一新し、同校の全国募集の魅力向上につなげるほか地域の交流の場として馬術部厩舎を整備します。

1 ポイント

「木をつかう」事業の一環として、地域の幼稚園や小学校が遠足で訪れ馬とふれあう地域の交流の場にもなっている北宇和高校馬術部厩舎を、木造建築で改築することで木の魅力を学べる場として木材利用の推進を広くPRする。

2 事業内容

(1) 事業個所 愛媛県立北宇和高等学校

(2) 施設概要 馬術部厩舎（延床 230 m²程度）

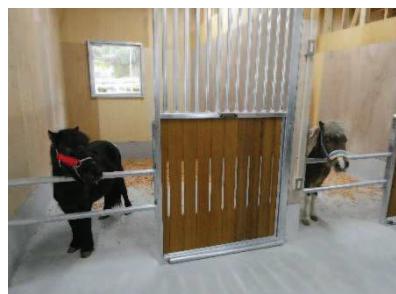
(3) 整備内容 既存厩舎及び周辺施設の解体撤去
厩舎の設計・新築
馬場の拡張及び柵更新

(4) 整備効果 県内唯一の北宇和高校馬術部は、地域にも開放され、同校の特色の一つとなっていることから、町と連携して馬術部厩舎を木造化することで同校の全国からの募集の目玉として、魅力向上につなげ生徒数増加を図る。

3 令和6年度実績

(1) 実績額 8,000 千円（全体事業費 53,240 千円）

(2) 実施状況



4 事業期間 令和6年度

5 全体計画

事業内容		R6	計
計画	木材使用量	35 m ³	35 m ³
	事業費	35,000 千円	35,000 千円
	うち森林環境税	8,000 千円	8,000 千円
実績	木材使用量	35 m ³	35 m ³
	事業費	53,240 千円	53,240 千円
	うち森林環境税	8,000 千円	8,000 千円
実施箇所		北宇和高校	